

❧議会だより

おおえ



観光振興が期待される
大江町

2014.1.23
No. **130**

よいしょ! ペットンコ! 大江幼稚園のもちつき大会

議長あいさつ	②	第2回大江町議会臨時会	⑫
12月定例会	③	各委員会 行政視察・調査	⑮
行政報告	⑥	大江・西川両町議会議員協議会総会 ..	⑰
一般質問/5人が町政を問う	⑦	私もひとこと/編集後記	⑳



平成26年

議長新年の挨拶

明けましておめでとうございます。



議長 小野祐一

平成二十六年の新春を迎え、心よりお慶びを申し上げます。昨年は7月の豪雨による月布川の氾濫等々により、本町にとつては未曾有の大災害となつてしまいました。

被災された皆様には心からお見舞い申し上げますとともに、町当局はもとより、議会としても一日も早い復旧に向かって尽力してまいります。

さて、当議会においてはこれまでいろいろなことが重なり、皆様にはご迷惑、ご心配をおかけいたしました。昨

年9月の定例会において副議長、常任委員会等のメンバーが一新され再出発いたしました。

また、12月の定例会においては、議員発議により「大江町議会活性化検討特別委員会」が設置されました。

議員個々の主義主張は違つても、議員一同一丸となつて綱紀粛正に努め、開かれた議会を目指して取り組んでまいります。

町民各位の尚一層のご指導ご協力をお願い申し上げます。

年頭に当たり、この一年が皆様にとって実りの多い明るい年でありますようお願い申し上げます。新年の挨拶といたします。

議長からの諸般の報告

1 平成25年秋の叙勲において、元町議会副議長の東海林長三郎氏が地方自治の振興発展に尽くした功績により「旭日双光章」を受章されました。

2 大江・西川両町議会議員協議会総会が行われ、両町の共通する課題「主要地方道大江西川線」、「主要地方道貫見間沢線」の道路整備の促進について、知事及び選挙区の県会議員並びに県土木整備部長など関係職員へ要望活動を行うことを決定しました。

3 大江・朝日両町議会議員協議会として両町の議長が東日本高速道路株式会社東北支店山形管理事務所を訪問し、高木所長に「国道287号木の沢地内からのETC専用車の進入路新設について」口頭にて要望を行いました。

所長の回答は、国からの指導、冬期間の問題を考慮すると、現在2車線であるが、用地を4車線分確保しているものの地元負担で用地確保が必要になり、また、4km区間に3つのインターチェンジとなるなど多くの課題があるという内容でした。

12月定例会

一般会計補正予算

9千630万円を追加
補正後の総額は52億1千80万円

入ってくる主なお金

地方交付税

普通交付税（追加）

3千78万円

住宅費補助金

社会資本整備総合交付金（追加）

1千917万円

児童福祉費補助金

安心子ども基金事業費（追加）

745万円

農業費補助金

活力ある園芸産地創出支援事業費

（追加）
548万円

個別所得補償経営安定推進事業費

（追加）
220万円

災害対策費補助金

防災拠点再生可能エネルギー導入

促進事業費（追加）
2千万円

町債

道路整備事業費（追加）
990万円

支出する主なお金

総務費

町有林保育委託料
287万円

平成24年度に行った、吹越地区の町有林の間伐材を有効利用するため町内の製材組合に製材業務を委託するものです。



吹越地区の町有林

測量設計等委託料（追加）

126万円

旧七軒西小学校2階を簡易宿泊施設として活用するための設計委託料です。

子育て支援交付金（追加）

50万円

該当する子ども2名が3名になったので交付するもの。

児童福祉費

*子ども・子育て支援システム整

備委託料
712万円

「子ども・子育て支援新制度」と名称が変わるのに伴い、システムを整備するための委託料です。

保育士処遇改善支援事業費補助金（追加）
54万円

保健衛生費

合併処理浄化槽設置補助金

（追加）
563万円

当初、16件の申請がありました
が、12月までに35件に増えたためです。

農業費

人・農地プランシステム作成等委託料

300万円

活力ある園芸産地創出支援事業費補助金（追加）
658万円

大江町トマト組合8名に対する補助金です。

土木費

山形県急傾斜地崩壊対策事業負担金（追加）
389万円

最上川に面した6区の崩壊した崖の地盤調査や測量設計等にかかる事業費です。

町営住宅建設工事費

4千132万円

西原団地F棟建設のための工事費です。

消防費

防災拠点再生可能エネルギー等設置工事設計委託料（追加）231万円
防災拠点再生可能エネルギー等設置工事費
1千800万円

グリーンニューデール基金を活用し、役場庁舎の南側に太陽光パネルを垂直に設置するための設計委託料と工事費です。



垂直パネルを設置した山形市市民防災センター

※グリーンニューデール基金とは？

環境省が推進する「再生可能エネルギー等導入推進基金事業」のことです。

主な質疑

菊地議員 生活環境復旧支援事業費38万円の内容は。

総務課長 豪雨災害に伴う流木、土砂、家庭内の廃棄物処理費77万円の1/2を県から補助されるものです。

菊地議員 庁舎に設置する太陽光パネルの電気量は。

総務課長 電気量6・6kw、蓄電池15kw/hである。



庁舎正面に設置される太陽光パネル

土田議員 垂直型太陽光パネルの設置は、町では初めてである。

パネルの枚数は。

総務課長 16枚です。

古城議員 町有林の間伐で余った木材部分の活用は。

総務課長 公共施設の冬支度の材料に使用するなど、町の材料として活用していきます。

伊藤議員 町有林の保育計画は。

総務課長 今後、町有林の整備に努めていくとともに、チャンスがあれば計画したい。

伊藤議員 間伐で余った木材はゲートボール場の腰掛けとか、災害

時は足場板として利用することも考えてはどうか。

総務課長 利用内容について、製材業者と検討していきます。

宇津江議員 急傾斜地崩壊対策工事の予定は。

建設水道課長 今年度に地盤調査、測量設計を終了したいと思っています。

工事が平成26年度内で終了するのか、平成27年まで延びるのかは

測量設計の内容によります。

宇津江議員 今後の西原町営住宅F棟の建設予定を伺う。

建設水道課長 平成26年2月頃に発注し、8月下旬頃の完成予定です。



新しくなる西原町営住宅F棟

結城議員 現在の下水道接続率と下水道の処理能力の余力を伺う。

建設水道課長 下水道の接続率は68・7%、処理能力の余力は約3割です。

結城議員 子ども・子育て支援事業計画策定調査の委託先と調査の内容は。

健康福祉課長 委託先は(株)ぎ

ようせいで、調査内容は小学校1年から6年と未就学者の、いわゆるニーズ調査です。

松田議員 測量設計等委託料の内容は。

政策推進課長 旧七軒西小学校の2階を簡易宿泊施設に活用するための改築に係るものです。

松田議員 議案として提出された背景を伺う。

政策推進課長 七軒地区の活性化に向け、七軒地区ならではの様々な体験や学習の場としての活用を考えています。



七軒地区の活性化が期待される旧七軒西小

12月定例会で決まったこと

平成25年第4回定例会は、12月4日から6日までの3日間にわたって開催されました。

今定例会では、条例の改正などの7議案、発議1件が提出され、いずれも原案のとおり全会一致で可決しました。

人事

「大江町固定資産評価審査委員会委員の選任について」

三沢司委員の任期が平成25年12月14日をもって満了となることから、再度選任されることに全会一致で同意しました。

条例の一部改正

町提出の5条例を全会一致で可決しました。

各関連の法律に基づき制定、または改正されるものです。

《一部改正された主な条例》

大江町税条例の一部改正

地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴い、本条例の一部を改正するものです。

大江町後期高齢者医療に関する条例の一部改正

地方税法等の一部改正に伴い本条例の一部を改正するものです。

大江町国民健康保険税条例の一部改正

地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴い、本条例の一部を改正するものです。

大江町保育所設置条例の一部改正

平成25年12月末日をもって「大江町立ひばり保育園、同つくし保育園」の2園を廃止するため、本条例の一部を改正するものです。



廃止される保育園

大江町介護保険条例の一部改正

地方税法等の一部改正に伴い本条例の一部を改正するものです。

議会活性化検討特別委員会を設置する。

発議第9号

大江町議会活性化検討特別委員会の設置について

提案理由

「大江町議会の活性化を図ることにより、町民に分かりやすい議会運営並びに町民の意思を反映した開かれた議会活動を行うことにより、町民の信頼と負託に応え、町政の振興発展を期する」ことを目的として、議会の活性化に向けた検討を行うため、地方自治法第110条並びに大江町議会委員会条例第5条の規定に基づき、議長を除く10名の議員により設置しました。委員長に古城紀夫氏、副委員長に安彦勉氏を選任しました。

旧しあわせ銀行の建物を町に無償譲渡

左沢7区にある「旧しあわせ銀行」の土地及び建物について、株式会社さらやか銀行より町に無償で譲渡したいとの申し出があり、町として検討した結果、「旧しあわせ銀行」の建物は昭和11年に起きた左沢大火後に建てられた歴史的にも重要な建造物であり、今後、中央通り商店街の活性化や重要的景観の観点からも、申し出を受けたいとの報告がありました。

町では、今後、建物の耐震診断、耐震化工事を行いながら、若い世代に夢のあるまちづくりを行う拠点として、町民の話を聞きながら整備を進めていきたいとのことです。



行政報告

7・18豪雨災害 復旧の取組み

建設水道課所管の公共土木施設災害の査定状況は申請数61件、申請額2億6千331万円に対し、査定額2億5千942万円。

農林課所管の農地・農業用施設査定状況は、農地が4地区、農業用施設が22地区の申請数で、申請額9千384万円に対し、査定金額8千956万円。

林道災害においては、長畑線など3路線8箇所申請し、申請金額5千298万円に対し、査定金額4千960万円。

大江町鳥獣被害防止対策協議会設立

野生鳥獣による農林水産物の被害が、中山間地域を中心に全国的に増加傾向にある。

今後の被害拡大が懸念されるが、鳥獣被害を抑止してきた、本町の有害鳥獣駆除の一翼を担う猟友会会員が現在では17名と少なくなり、高齢化も進行していて、会員の確保が大きな課題となっている。

町としても今後被害が拡大することを想定し、人里と生息域の緩衝帯の整備や防護柵等の設置、また、鳥獣被害対策実施隊の設置による狩猟者への助成を含め、野生動物の保護についても配慮した鳥獣被害防止計画を策定、人的及び農林水産物被害を防止するため、関係団体の賛同を得て、10月28日に大江町鳥獣被害防止対策協議会が設立された。

旧七軒西小学校校舎の利活用

校舎2階部を簡易宿泊施設として旅館業法に合致する必要な改修を行い、次のような利活用に取り組む。

- ①1階を地域活動や趣味のサークル等、七軒地区における自然、歴史、文化、温泉を最大限に活用した自然体験学習施設とする
- ②地域の方々、町内の子ども達と都市部の子ども達との各種交流事業

このため、今年度中に設計業務を行い、来年度に改修工事、あわせて運営、利活用を引き受ける団体の公募を、まず町内から段階的に行っていくきたい。

大江町教育委員の辞職の同意

金山耕三大江町教育委員長より、平成25年10月31日をもって教育委員を辞したい旨の申し出があり、法律の規定に基づき同意した。

教育委員会においても同規定に基づき同意された。

教育委員会より、平成25年11月1日から当分の間、教育委員長の職務は高取和彦委員が代行するとの通知があった。

平成25年度職員採用試験

上級行政職、初級行政職の職種について募集し、上級行政職に13名、初級行政職に4名の受験申し込みがあり、1次試験2次試験の結果、最終的に上級行政職2名、初級行政職1名を採用内定。

株式会社大江町産業振興公社の決算見込み

今年度上半期の仮決算を終え、当該期の収支決算が確定。

純利益額342万円の前年度比315万円の増ながら、目標値では61%と低い達成率。

入浴者数はさわやか券、パスポート利用客増の結果、数字上、前年比229人の増。

しかし、直接利益につながる券売機の入浴者数は4千751人減で、収入額は132万円の減。

上半期、柳川温泉の入浴者数では3千522人の減、宿泊者数も前年比で533人の減と、震災前の実績には程遠い。

柏陵荘も入浴者数1千41人の減。下半期を踏まえた上での今期の決算見込みは、健康温泉館の木風呂改修事に伴い、今後1ヶ月程度の休業期間も考慮したほか、柳川温泉で7月豪雨に伴う県道大江西川線及び神通峡等災害の影響もあり、公社全体で約2千万円前後の損失。

平成18年度から指定管理協定を締結している株式会社産業振興公社については、今後の情勢により非常に厳しい経営実態であること踏まえ、来年度に向け各施設の指定管理料の改定を検討したい。

入浴料及び物販手数料等の推移、従業員の賃金水準、物価水準の変動を精査し、併せて柏陵荘の今後のあり方等についても検討を進め、次年度以降の適正な指定管理料に反映していきたい。



士田 勵一 議員

新たな宅地造成を問う

町長

来年度に宅地造成事業計画を策定する。

質問 造成した宅地は、全て完売したことによって受け皿は全くなくなり、良い意味で切羽詰まっており、のんびりしてはいられないのではないかと。

新たな宅地造成について、どのような状況なのか、また、今後どのように進め、いつ頃着手するのか、考えをお聞きいたします。

町長 現在、候補地をいくつかに絞り、事業費の積算、分譲価格の試算など事業立ち上げに向けた検討を進めており、27年度から宅地造成事業に着手することに向け、財源としての国庫補助等を視野に入れ、来年度には低廉で良質な宅地を提供するべく宅地造成事業計画を策定し、用地取得に向けた事業実施も行う予定です。

質問 少子高齢化や雇用創出対策及び若者優遇施策として宅地の具体的な規模について伺います。
町長 20区画程度で、若い世代でも購入しやすいような比較的



完売した蛭水団地

面積の小さい区画で、町営住宅や特定公共賃金住宅などの賃貸住宅も併せて検討していきます。
質問 平成26年4月から消費税は8%に、将来は10%になる予定で、宅地分譲購入者にとって厳しいものがあります。

宅地造成工事に入る前からコーポラルをしてはと思います。
町長 コーポラルの前提として、良質で魅力的な住宅地の広報をすることが最も重要です。

中には、民間のデベロッパーとして開発ができないものかなどの話もあります。

議会の動き (平成25年10月～12月)

10月

3日 広報常任委員会

村山最上地区議長会合同研修
(鮭川村)

7日 岩手県九戸村総務教育常任委員会視察来町

全員協議会懇談会

8日 広報常任委員会

議会運営委員会

11日 広報常任委員会

臨時議会

16日 大江西川両町議会議員協議会

役員会

21日 総務文教常任委員会・産業厚生常任委員会

合同行政視察(～22日)

23日 岩手県一関市 骨寺村

宮城県 亘理町いちご団地ほか

29日 村山・置賜地区議長会合同研修
(朝日町)

西村山地方議長協議会行政視察(～30日)

31日 郡山市、喜多方市

産業厚生常任委員会協議会

11月

1日 大江西川両町議会議員協議会

総会・研修

12月

7日 村山地方町村議会議長会正副議長事務局長研修(宮城県七ヶ浜町)～8日

11日 県市町村行政懇談会(県庁)

13日 町村議会議長全国大会(東京)

豪雪地帯町村議会議長全国大会(東京)

14日 町村議会議長行財政セミナー(東京)

20日 全員協議会

22日 総務文教常任委員会

26日 議会運営委員会

4日 定例会(～6日)

9日 大江西川両町議会議員協議会

要望活動(県議会、村山総合支庁)

10日 議会広報常任委員会

25日 大江朝日両町議会議員協議会

総会・研修

次回定例会は、3月開催予定です。ぜひ傍聴においでください。

また、大江町のホームページで、議会の様子をライブや録画で見ることができます。



結城 岩太郎 議員

食育について伺う。

教育長

食は「命」を育む基本であり、豊かな心を育むよう指導している。

質問 食育は生きる上での基本であり知育、徳育及び体育の基礎となるべきものである。

さまざまな経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択できる力を習得し、健全な食生活を実践できる人間を育てることが重要である。

子どもたちの「食」の大切さについて、指導はどうあるべきか伺う。

教育長 食は「命」を育む基本であることを意識づけるとともに、食に関わる人と食材に対する感謝の心や他人を思いやる心等、豊かな心を育むことを狙いとして「心を育む学校給食週間」を各小中学校で設定し、給食時間や授業時間において食に関わる指導を実施している。

質問 学校給食の食物アレルギー対策は。

教育長 毎年4月に各学校において保護者から子どもの食物アレルギーについて把握した上で対処しているが、現在のところ

小中学校生徒で深刻な対応を要する児童生徒はいない。

質問 各家庭における食事、地域の文化特性を活かした食文化について伺う。

教育長 食生活の実態について調査し、今後の指導のあり方について保護者と学校が一緒に確認する場を設けている。

また、本町の食文化を伝える郷土食や町内産野菜を取り入れた「ふるさと給食」を実施している。

質問 職場体験、社会体験について伺う。

教育長 中学校では企業体験を主にした職業体験学習を毎年2年生で実施している。

質問 文部科学省では5日間の職場体験を推奨しているが、本町では何故3日間なのか。

教育長 中1は父母の職場体験、中2は町内商工業体験、中3は農業体験と伝統的に実施してきた。

現在は総合学習なども含め、3年間を通じて5日間の内容に



小学生の稲刈り体験

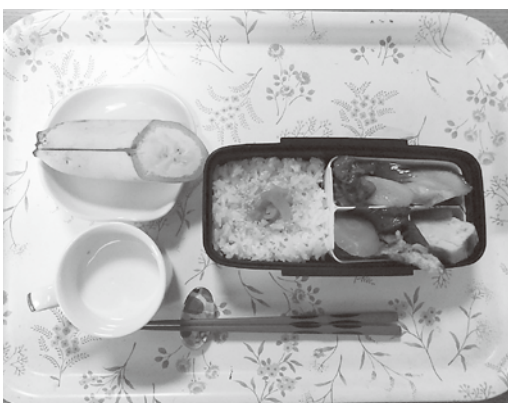


中学生の職場体験

値する職場体験や地域学習を実施している。

質問 体験学習について伺う。

教育長 田植え、稲刈り、里芋の栽培など農作業の体験学習を通して労作の喜びや苦勞、命や環境の大切さを学び、食と農に



自分でつくる弁当

関心をもってもらうとうと農業の体験学習を実施している。

質問 子ども自らつくる「弁当の日」を設けることについて伺う。

教育長 町内の学校の状況としては子ども自らつくる「弁当の日」は実施されていない。

質問 これも子どもの成長過程における一つのステップでもあり、「自分でつくる弁当の日」を設けることは食育をする上で大変有効なことと思うが、再度、伺う。

教育長 深く認識を新たにし、趣旨、ねらい、食育の価値を踏まえた上で学校、保護者間との連絡を密にしていく。



安食 幸治 議員

五百川三十三観音を活用して 着地型、滞在型観光を 町長 貴重な意見として受け止める。

に行動に移した後には行政が後から付いていく方法がいい。

質問 大江、朝日、白鷹町内に

点在する「五百川三十三観音霊場」と呼ばれる、観世音菩薩を信仰する寺院等が34ヶ所あり、昨年8月、朝日町常盤にある1番札所の「水口観音」が240年ぶりとなるご開帳をして、県内外から、1週間で1千人以上の方がお参りに訪れた。大江町にも4ヶ所ある札所をPRすることで、町の交流人口の増加が期待できる。また、大江、朝日、白鷹3町の広域観光資源ともなる政治と宗教は難しい関係にあるが、「信仰」と「観光」は表裏一体なものだとも言われており、「着地型」「滞在型」観光に結び付けられないか町長に伺う。

町長 宗教や宗教を支える組織、

お社についてコメントするには問題が多いので、趣味の問題で語れば、大江、朝日、白鷹の三つの町が持っている財産を出し合っ、点から線へという観光でなければ勝負できない。どなたかが、伝統の中で長く苦しみながらも、実際



富沢地区にある五百川札所の観音堂

質問

大江町と朝日町の町制施行の年が5年間ずれているので、6年後の町制施行大江町60周年、朝日町65周年記念のご開帳を行うことは。

町長

発行しているパンフレットには、寺社関係が8つ載っている。それを作っている大江町観光物産協会が大々的に進めていって、その傍らにいる行政が側面から

援していくのが常道。大江、朝日、白鷹町に寒河江、中山を合わせた広域の関係を大切にしながら、新たな道に進んでいきたい。

左沢十ヶ所観音霊場を観光資源 として着地型、滞在型観光を 町長

今までもあるもの、今あるものを充実させていく。

町長

質問 左沢十ヶ所観音霊場は、左沢地区に8ヶ所、藤田地区に1ヶ所、小見地区に1ヶ所ある、

ゆつくりでも半日で巡礼できる観音霊場です。国の重要文化的景観に選定された町を見に訪れた観光客の方に、大江町内に泊まって、大江町にお金を落とし、してもらうために、町、観光協会が発行するパンフレットに「左沢十ヶ所観音霊場」を掲載し、活用して観光に訪れた人々が「日帰り」ではなく「泊まって」観光できる「着地型」「滞在型」観光に結び付けられないか町長に伺う。

町長

川港で栄えた左沢の町で人が一番集まった時代を勉強して歴史の中に隠れている所を探り、現代に合う形でよみがえらせるような、大江町にしかない

観光資源について激しく深い議論が必要。

質問

旅行者、タクシー業者と連携し、どの施設でも受け入れ可能なジャンボタクシー1台の人数分の旅行行程を考え、町の入口と奥にある温泉を活用し、地産地消の料理を提供すれば、町内各地の活性化にもなる。何年か後「祝、国選定重要文化的景観選定何周年記念」の「左沢十ヶ所観音霊場特別ご開帳」をしてみたい。

町長

重要文化的景観の地域に指定する大前提は、七軒、本郷、左沢の大江町全体を包んでいるので、本郷、七軒地区の寺社関係を網羅して調べて、ビジネスにしようとする方がいいれば、行政として応援していきたい。



左沢3区にある2番札所「光明院」



松田 敏男 議員

歴史的建造物の保存について伺う

町長

保存整備計画を策定し、建造物の所有者と協議しながら保存していく。

質問 最上川の流通・往来及び左沢町場の景観が、県内で初めて国選定重要文化的景観の指定を受け、目下、県内外から多くの来町者があります。

東北では三番目という指定から、訪れる人たちは歴史的建造物に目の肥えた人が多くいると聞いております。

町のパンフレットにも個人の歴史ある建造物が多数掲載されておりですが、2011年の東日本大震災では建造物に被害があつたと聞いています。

今後震災や雪害、老朽化などで景観が損なわれることが考えられます。

修復や修理費について、町でも補助制度をつくるべきだと考えます。

また、町のPRについてもDVDを製作し、アピールすることも効果的であると思います。

町長 国では歴史的建造物の管理、修理、修復及び修景について

特に必要と認められる場合、工事費用の2分の1を補助します。そのため町の保存整備計画が必要となり、来年度に策定する準備を進めています。

町の景観条例に基づく修理等に多額の費用がかかる場合は、負担について町と所有者が協議し、景観という公の利益と個人所有の財産のバランスを考慮しながら、所有者の方からも理解をいただく必要があります。

また、多額の費用対策として、基金の活用を検討させているが、全国的に同じような課題を抱えている市町村と連携したいと考えています。

保険制度とか建物共済的な基金の積み立てができないものか町民、建造物所有者及び議会と相談しながら検討していきます。DVDの映像媒体による観光PRについては必要です。

今後、費用等を調査し検討していきます。



原町地区の歴史的建造物

個人的に農地を集積し、頑張る人に機械等への補助制度は

町長

新規就農者も含め頑張っている農家に対し補助を検討したい。

質問 年々耕作放棄地が拡大しています。

農業の持つ多面的な機能が中山間地の環境面で果たしてきたことを考えれば、営農集団を結成した団体への助成だけでなく、個人的に集積し頑張っている人へも補助制度を考えるべきだと思います。

町長 農業をされている方々の力をどうつけるのかが一番の課題です。

肉体的な力であれ機械的な力であれ、どれを取っても厳しいものがありますが、現在、新規就農者の町への定住希望者が少し出ています。そうした方も含めて、将来、電動はさみとか高所作業車とか機械購入の補助を検討してまいります。

また、農業現場に向いて実態を把握し、集落にとって、個人にとって、何が必要なのかを見極めながら支援することが必要だと思えます。



中山間地の田園風景



伊藤 慎一郎 議員

水田農業の見直しの考え方は

町長

大江町固有の課題については、果敢に挑戦していきたい。

質問 国の水田農業をめぐる政策の見直し論議が出ている。就農者が減少する中、そしてまた中山間地を抱える大江町としてはどうのように認識されているのか伺う。

町長 国の出方の最終的な所を深く認識していないが、大江町の場合はどうするかというところ、大きなくくりの中で声をあげて動いていきます。

質問 スイカ団地や、くろべえ茄子の産地として出来上がったのも、集団転作の良い結果だと思われる。

中山間地の農地は、多面的・環境保全などで大変役に立っており守らなければならぬ。

それには行政としても手を差し伸べなければと思うが、考えを伺う。

町長 県関係、国関係で、まだ新しい制度の詳しい内容が明らかになっておりません。新しい制度ができた段階で、大江町独

自の仕組みを、周知を図りながらつくっていききたいと思っております。



中山間地の農地はどうなる

食品の安心安全の

教育は

教育長

学校、家庭、地域と連携して指導していきたい

質問 外国産の肉に関しては餌に配合されているホルモン剤、

穀物などは遺伝子組み換えなどが問題視されている。

義務教育の中では話題には出ないのか、教育長に伺う。

教育長 学校で直接指導する内容には含まれてはいませんが、学校で提供される食材に関しては、子どもたちが安心して口にすることができるよう配慮しています。

質問 高校では教えているのでしょうか。

町長 家庭科の実習の中で一部触れていると思われれます。

質問 1973年6月、当時のニクソン大統領は、大豆の輸出禁止を行った。そのため大豆は急騰した。

12月4日で、東日本大震災から1000日になった。震災の次の日、スーパー・コンビニから食べ物が消えた。

いつ、どんな形で食糧難が来るか分からない。

それらのことを考えた時に、中山間の農地も大切にしていかなければならないのではないかと、どのように考えるのか伺う。

町長 命を保持する食べ物について学習が足りないのではない

か、人間は、そうならないと目が覚めないのではないかと感じます。大江町だけは、そうならないよう自給率を高めて、米をもみで保管するなど、糸口をつくり宣伝等をしていきたいと思えます。

生物多様性の面からも、水田の持っている多機能性を改めて認識し、大江町として踏ん張れるのはどこかを、これから出てくる国、県の情報を元に判断していきます。



食糧の安心安全は守れるか

第二回大江町議会

臨時会

平成25年10月15日

《議第83号》

専決処分承認を求めることについて

平成25年度大江町一般会計補正予算（第6号）

国庫補助金の内示を受け、経営体育成支援事業費補助金が緊急に必要となったことから、専決処分することを全会一致で承認しました。

これは、三郷地区中心経営体の3名の農家に対し農業振興費としてコンバイン2台、スピードスプレーヤー1台の購入費に対し590万円を補助したものです。

歳入歳出それぞれ590万円を追加し、予算総額は50億5千150万円となりました。



補助金を活用したコンバイン

《議第84号》

平成25年度大江町健康温泉館改修等工事請負契約の締結について

1、工事名

平成25年度大江町健康温泉館改修工事

2、工事場所

大江町藤田地内

3、請負金額

2億3千652万円

4、契約の相手方

升川建設株式会社

以上の件について、全会一致で可決しました。

《議第85号》

大江町町営住宅条例の一部改正

昭和58年度建築の西原住宅E棟の建替えに伴い、本条例の一部を改正するものです。

全会一致で可決しました。

《議第86号》

平成25年度大江町一般会計補正予算（第7号）

全会一致で可決し、歳入歳出それぞれ6千300万円を追加し、予算総額は51億1千450万円となりました。

補正予算

《主な歳入》

地方交付税	252万円
国庫負担金	4千37万円
町債	2千10万円

《主な歳出》

衛星携帯電話更新補助金	46万円
古寺地区（2世帯分）で住民の安否や山岳救難用として使用している衛星携帯電話が老朽化したため更新するものです。	
災害復旧工事費（追加）	6千55万円
国の災害査定結果を受け、平成26年までにかかる15路線19箇所町道工事費を追加するものです。	

主な質問

土田議員 衛星携帯電話更新はデジタル化のための更新なのか。

総務課長 衛星携帯電話の衛星が老朽化し更新するため、受信側も更新する必要があります。

松田議員 古寺地区2世帯で有事

（病気等）の場合、県防災ヘリコプターによる救出は可能か。

総務課長 夏場はサクラマスふ化場の駐車場でドクターヘリコプターによる救出は可能ですが、冬期間は使用不可能です。

冬期は防災ヘリコプターになりますが、離着陸が可能かどうか。もう一つの方法として、患者を吊り上げて救出する方法があると思います。



県の防災ヘリコプター「もがみ」

布施議員 農地・農業用施設の復旧工事の進捗状況は。

農林課長 今年度で、来年の作付に支障のある施設は復旧を完了したいと考えています。

西村山広域行政事務組合 第2回定例会報告

平成25年10月8日、寒河江市のフローラSAGAEにおいて開催されました。

専決処分承認1件、決算認定3件、補正予算2件、条例改正1件が提出され、全て賛成多数で可決しました。

一般会計

西村山広域行政事務組合決算の一般会計は、総務費・民生費（明鏡荘）・消防費の各会計で構成されるものです。

○歳入総額 14億1千668万円

○歳出総額 14億380万円

差引1千288万円の黒字で、1千万円は基金繰入、残りは繰越金となります。

歳出の内訳は、明鏡荘に要した費用が2億7千314万円で、主な事業は屋根外装防水工事です。

消防費は10億4千30万円で、主な事業は各庁舎の耐震診断委託費、大江分署の消防ポンプ車購入費です。

寒河江地区クリーンセンター・斎場特別会計

斎場特別会計

○歳入総額 11億6千653万円

○歳出総額 11億3千99万円

差引3千554万円の黒字で、3千万円は基金繰入、残りは繰越金となります。

主な事業は、寒河江市大平地区の最終処分場の整備費です。

交通災害共済特別会計

○歳入総額 2千263万円

○歳出総額 1千946万円

差引317万円の黒字でした。

平成25年度一般会計補正予算

歳入歳出に5億6千779万円を追加し、総額20億5千万円

主な事業は、消防救急デジタル無線整備事業です。26年度から27年度の2カ年で整備する予定でしたが、今年度限りの有利な起債を活用し、事業については翌年度に繰り越すものです。

大江町の大山地区に無線の前身基地が設置される予定です。

クリーンセンター・斎場特別会計 補正予算

歳入歳出から3千88万円を減額し、総額11億9千828万円

内容は、人事異動に伴うものと、予算の見直しによるものです。



寒河江市幸生にある大平最終処分場

西村山広域行政事務組合 議会議員視察研修

【組合施設視察研修】

平成25年11月25日、組合の全施設を訪れて視察研修が行われました。

消防本部では、職員の業務内容のほか、119番通報を受けてからの処理の仕方を実際に電話をかけた確認し、家の中で携帯電話を使わずに固定電話を使うと位置確認が早くできることなどの説明を受けました。

寒河江市幸生地区にある大平最終処分場では、平成28年度から始まる第2期工事計画の説明を受けました。

朝日町の明鏡荘では、西村山郡内の施設受け入れ状況について説明を受け、施設を見学しました。入所者の高齢化で高度の介護が必要な方が増え、施設の改修が急務であるとのことでした。

斎場では、仕事の流れ、屋根の塗り替え等の説明を受けました。

クリーンセンターでは、汚泥処理、粗大ごみ・ビンや缶・燃やせるごみ・ペットボトルの処理の流れの説明を受けました。

【秋田県湯沢雄勝 最終処分場視察】

西村山広域行政事務組合で運営している寒河江市大平最終処分場の第2期整備の参考とするため、10月17日に、先進地である秋田県湯沢市にある湯沢雄勝広域市町村圏組合の湯沢雄勝一般廃棄物最終処分場を行政視察してきました。

湯沢市、羽後町、東成瀬村の一市一町一村で構成される広域組合で、合計人口は約7万人です。ちなみに西村山広域行政組合は、河北町を除く一市三町で、人口は約6万6千人です。

湯沢市にある最終処分場も、平成22年4月から使用されている、遮水シートを敷く一般的な埋立サンドイッチ方式の処理場で、漏水検知システムを備えた浸出水処理設備があり、環境保全に配慮されたものでした。

平成28年供用開始する予定の大平処分場整備の参考として、大変有意義な視察でした。

県内22の町村議員 集まる。

平成25年度町村議会議員の研修会が10月15日、山形市国際交流プラザで開催されました。

1 今後の政局・政治展望

講師は日本大学法学部教授の岩井奉信（ともあき）氏で、安倍政権が国会のねじれを解消したが、長期政権にならないければ日本は再生しないことを強調されました。

TPP、消費税問題と野党との関わりで、現在は、与野党が一党多弱になっていることなどを指摘されました。



日本大学法学部教授 岩井奉信（ともあき）氏

2 環境問題のウソと真実

講師は「ホンマでっか!?TV」に出演中の中部大学教授の武田邦彦氏で、次のように強調されました。

国が発展するためには、国民が活動するためのエネルギーを使わなければならない。

エネルギー消費量と国力、さらには国際競争力は比例するので、エネルギー節約は国力を阻害する。

「節約」は必要なのか？国が節約するのは戦争の時だけで、今の日本は節約することはない。

石油に関しては、世界中の石油が本当になくなるまで50万年〜1千万年かかるので、誰のため節約しているのか？石油を大切にしない方がいい。

エネルギー節約は、活動を阻止する。活動を減らして発展するのは不可能。

CO2を世界中の国が削減しているわけではなく、日本、ドイツ、イギリスの3国だけである。

さすが、日本には数少ない資源エネルギーの専門家の意見に、一同、目からウロコになりました。

安倍総理のオリンピック招致演説を、科学的には本当だとは言えないが、「国益」にかなう「うそ」ならいい。

国の活性化のため、そのくらいの政治家にならなければ、国を栄えさせ、子どもを増やすことはできない。

逆転の発想であり、専門家ならではの含蓄のある講演でした。

さらには、人間と動物の生き方、役割の違いまで多岐にわたる内容で、あつという間に1時間半が過ぎ、参加した全員が大変勉強になった、実のある研修会でした。



中部大学教授 武田邦彦氏

各委員会 行政視察・調査

○総務文教常任委員会

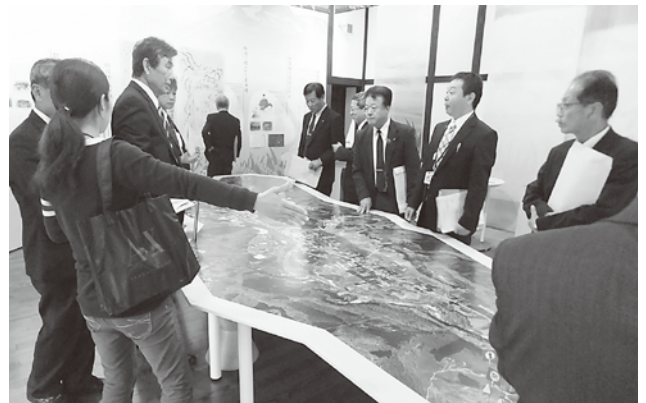
中世絵図に描かれた日本の農村原風景として、平成18年7月28日に国の重要な文化的景観に選定された一関市巖美町本寺地区、骨寺村莊園跡地を、平成25年10月21日に調査しました。

その昔「骨寺村」と呼ばれた莊園で、中尊寺の恭造別当の所領でした。奥州藤原氏ゆかりの莊園遺跡である骨寺村は、伝統的な農村の風景が維持されているかけがえのない重要な遺産です。



中世絵図に描かれた
ここにしかない日本の原風景に出会う

骨寺村航空写真



骨寺村莊園施設での研修

農村をあるがままに、後世に残してきたことは大変な苦勞のたまものと思います。本町でも「ただならぬ」重要な文化的景観を生かしたまちづくりを進めるには、現在する本町の史跡や文化を大切に、時間をかけて保存・整備していくことも重要と感じました。さらに、このことを町民の方々に認識していただくことが大切だと思います。骨寺莊園施設も見学しました。都市と農村の交流や立地条件という点では、本町でも既存施設との併設なども考慮して、文化的景観をPRする施設が設置できるものと確信しました。

○産業厚生常任委員会

宮城県巨理町における「東日本大震災による災害の復興状況」について、平成25年10月22日調査しました。

亡くなられた方
住宅被害

全壊	2千568棟
大規模半壊	285棟
半壊	920棟
一部損壊	2千448棟
浸水被害	
小学校	3校
中学校	2校
津波浸水面積／町の面積の48%	



当時のいちごハウスの被害状況

都市計画マスタープランなどの施策・計画との整合性を図りつつ新たな「安全・安心・元気のある巨理町」をめざし、復興の期間を10年間として3期に区分する。

平成23～25年までを復旧期、平成23～27年までを再生期、平成26～32年までを発展期として、今現在160の分野でおおよそ400件の復興事業を実施している。



新しいいちごハウス

巨理町いちご団地造成事業

津波により大きな被害を受けた、特産品の「いちご」の生産を復活させるため、町内3カ所に大型園芸施設を造成、建設し、被害農家の営農再開を支援する。

総事業費	約112億円
いちごファーム造成	約2・5億円
いちご団地造成	約95・7億円
造成面積	約68・5ha
入植者数	104人

未曾有の大災害に遭ったにも関わらず巨理町の花「さざんか」のように寒さに向かって咲き、町の木「黒松」のように一年中緑が茂っているイメージを感じ、活気が満ち溢れていました。

委員会活動報告

総務文教常任委員会

議会議決後、初めてとなる所管事項3ヶ所の調査を11月22日に行いました。

1 史跡左沢楯山城跡を視察

7・18豪雨災害で土砂崩れした楯山亭北側の現地を見て、大規模な被災状況に一同驚愕しました。

本格的な災害復旧は来年度からということ、現在は楯山亭手前の地面に溝を切り、雨水を沢に流し、これ以上土砂崩れしない対策をしているとのこと。

また、災害復旧目的の発掘調査も行いながら、最上川ビューポイント地点の楯山亭付近も含めて災害復旧工事を行う予定です。

2 左沢小、大江中学校藤田の丘分校を視察

今年の4月より開校した、児童自立支援施設「県立朝日学園」内にある左沢小、大江中学校藤田の丘分校の運営と、朝日学園の現状や学校教育導入の成果と課題の説明を、園長の木村先生にいただきました。

次に、分校教頭の佐藤先生から

校内を案内していただき、生徒が実際に授業している様子と施設を見学しました。

3 テルメ柏陵健康温泉館の改築工事現場を視察

担当課の政策推進課職員より進行状況の説明を受けました。現在は新しい木風呂の基礎を作っているところでした。

2月頃に工事の関係で1ヶ月休業する予定になっているが、1日の売り上げが30〜40万円あるため、温泉客の流失を少しでも防ぎたいと、休業の内容を考慮中とのことでした。



朝日学園内で説明を受ける



荻野 果樹園 1ha 応急本工事9月30日完了
排土量 1,410m³ (ラフランス・もも・りんご)
田 4.14ha 復旧工事は平成26年度春の予定



滝ノ沢橋 総工費 1,646万円
平成25年10月31日完成



大江西川線 路肩決壊・路面流出
平成26年度中に復旧工事完成予定



神通峡連絡線 2か所 道路崩壊
平成26年8月・11月完成予定

産業厚生常任委員会

10月31日 大江町地内(7・18豪雨災害調査)

大江町型住宅

荻野北方地区

滝ノ沢橋(沢口)

大江西川線(柳川から4.8km)

神通峡連絡線

大江・西川 両町議会議員 協議会総会

11月1日、大江・西川両町の議員全員が集まり、本町にて開催されました。

1 現地研修

総会に先立ち、「最上川の流通・往来及び左沢町場の重要文化的景観」について現地研修を行い、講師に観光ボランティアガイドの会長である石川博資氏を迎え、大江町の歴史と文化を学びました。最初に、交流ステーションにおいて「大江の秋祭り」の囃子屋台、獅子舞、奴の説明を聞きました。次のコースは日本一公園（楯山）で、中世に楯山城を築いた大江氏の歴史を聞き、大江町と西川町の密接な関わりを学びました。

そして、眼下に広がる最上川と左沢町並みの日本一の景色を眺めました。

次に、最上川沿いを百目木から新最上橋下を歩き、舟運文化で栄えた上杉米沢藩舟屋敷と斎藤茂吉歌碑、旧最上橋の説明を聞き、原町では称念寺や会津屋清野家の建物の説明を聞き、最上川舟運によ

り栄えた左沢の町並みを見学しました。
ガイドをしてくださった石川博資氏の巧みな話術で盛り上がり、充実した研修となりました。

2 協議会総会

両町の共通課題・問題に関する事項である「主要地方道貫見間沢線」の整備促進（西川町提案）と「主要地方道大江西川線道路改良」の整備促進（大江町提案）を、県知事他関係各位に対し要望書を提出することを決めました。

また、鳥獣被害の連絡強化、「志田周子」を銀幕に甦らせる会の活動報告等の意見交換や、現在、災害で通行止めになっている大江西川線の早期開通等、大江・西川両町が共に良い方向に進む努力をすることを誓いました。



楯山公園にて

12月9日

大江・西川両町議会議員協議会で 県知事等へ要望書を提出しました。

要望内容

主要地方道大江西川線道路改良の整備促進について

貫見く沢口間 改良

早期着手 ほか

主要地方道貫見間沢線の整備促進について

西川町芦沼く貫見間 改良

早期着手 ほか

要望先（敬称略）

山形県知事

吉村美栄子

山形県議会議長

鈴木 正法

山形県議会議員

阿部 賢一

山形県県土整備部長

岡 邦彦

ほか



県議会議長へ要望書を提出する

観光に係る懇談会

平成25年12月10日、議会活性化の意味も含めて、今回初めて、政策推進課の管轄である大江町観光物産協会と議会総務文教委員会による懇談会が開かれました。

最初に町、観光物産協会や各種団体が催すイベント内容と誘客目標、実績が報告されました。

また、町の観光名所である神通峡が3年にわたり災害で復旧が見込めないため、これからの町の観光について、観光協会役員の方々と意見を交換しました。

懇談会では、滞在型観光、温泉を利用した健康観光、花火大会、大江の秋まつりの工夫等々建設的な意見が出され、これからの観光について連携を深めることを確認しました。



観光の発展に向けて

西村山地方議長協議会 行政視察

平成25年10月29日～30日の2日間の日程で行われました。

1日目は福島県の郡山市議会を訪問し、防災行政無線等、防災体制の整備状況について視察研修しました。

○避難所における資機材等の整備状況

・収容避難所（小中学校、公民館、体育施設等）

（各避難所への資機材等の備蓄なし）

・備蓄倉庫 29ヶ所―避難所開設時に、備蓄倉庫から必要な物品を搬入しています。

○自主防災組織の設立状況

・平成19年度までに41団体設立

・連合町内会単位に組織（648町内会）

○防災行政無線

緊急時の迅速な情報伝達を目的に、平成元年から平成14年度までに設置

・屋外支局（スピーカー）134ヶ所
・河川流域を中心に、全域に設置
・今後のデジタル化が課題である。



郡山市役所にて

2日目は、喜多方市議会を視察研修しました。

○「小学校農業科」の食農教育の成果について

・給食での地元食材を使用した「地産地消」の取組みを通じ、児童に農業を教えることで、児童の意識がどう変わったのか、などの食農教育の成果を研修しました。

・地域の協力を得て実施されており、「食」の重要性を説く教育等について伺いました。

○耕作放棄地の活用等の取組み状況

・住民が主体となって耕作放棄地の活用をしております。
・支援策（補助金等）について
農地貸付方式による株式会社等

の農業経営への参入の容認、及び市民農園の開設者の範囲の拡大における現状と課題について研修を行ってきました。

村山地方町村議会議長会正副議長・事務局長合同会議 及び研修

平成25年11月7日～8日の2日間の日程で、宮城県七ヶ浜町にある東北電力（株）仙台火力発電所の視察を行い、敷地内の仙台太陽光発電所を見学しました。

○仙台火力発電所

七ヶ浜は、北、東、南の三方が海に面し、風光明媚な景観で自然環境に恵まれた町です。

仙台火力4号機はコンバインドサイクル発電としては、当初の一軸形を採用し、ガスタービン・蒸気タービンと発電機を同一軸に配置しています。

燃料は環境にやさしい天然ガスを使用し、硫黄酸化物や煤塵の発生はありません。
そのため、煙突の高さを59mに

押さえ、景観に配慮した設備としています。

○仙台太陽光発電所
景観に配慮した黒色フレームを採用している。
太陽電池モジュールの設置角度、パワーコンディショナーについて担当職員から説明を受けたほか、協議事項や情報の交換を行いました。



仙台太陽光発電所

大江町議会議員・大江町区長会 役員との意見交換会

平成25年11月26日午後3時より、役場大会事室で5項目にわたって活発な意見交換会が行われました。

- (1) 町全体の施策として、防犯灯をすべてLEDにできないか。
- (2) 町道藤田・大明神線に信号機を設置できないか。
- (3) 朽ちた空家に対する有効な対策はどのようなものか。
- (4) 七軒西地区など、世帯数が少なくなってきた。区としての活動を維持していくのが困難になってきている。将来的に区の統合など、どのような視点で考えていくべきか。
- (5) 議員定数の削減について、どうお考えでしょうか。

その他、集落活性化補助金の継続と区に自主防災組織をつくることなど、区長の立場、議員の立場から意見を交換しました。今回が初めてのことでありましたが、「私たちの町を良くしたい」という認識では一致したと思います。

さらにこのような交換会を継続していかなければなりません。詳しい内容については各区長さんにお尋ねください。



信号機を早急に設置してほしい(藤田地区)



有効な空家対策は

大江、朝日町町議会 両町議会議員総会

12月25日、総会に先立ち、大江町役場庁舎を会場に行われた研修会では、今年度4月より総合学科になり、第一期生となる120名を迎えた県立左沢高等学校の孫田淳校長を迎え、総合学科移行の準備、取組みの説明をしていただきました。左沢高校の教育目標は「地域社会を担う人材の育成」で、数々の町の行事、イベント等にも積極的に生徒達が参加、協力しているということでした。

参加した両町議員全員が、今後とも一致団結し、地元の高校である左沢高校を支援していくことを誓いました。



総会風景



左沢高校の説明をする孫田校長

続く総会では、大江町議会より一足早く議会活性化特別委員会が発足した朝日町議会の町民に対する議会報告会等々、議会活性化の内容、実例の発表がなされ、両町議会で今後とも継続して交流することを確認しました。

また近年、生態系の変化や温暖化で従来いなかったシカ、イノシシ等の目撃情報があり、農作物の被害も予想されることから、有害鳥獣の被害・目撃情報等を密に交換していくこととしました。

私もひまわり



小國 加奈子
(左沢7区)

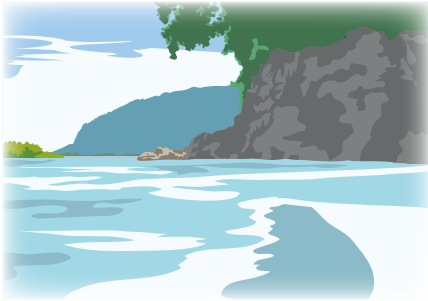
生まれ育った神奈川から縁あつて左沢の薬屋に嫁いで13年、大江町での暮らしは4年目になります。

利便性の良い都市型の生活から一転、全く異なる環境での生活は慣れるまで戸惑いの連続でした。しかし、歴史と情緒ある秋祭りなどいろいろな行事に参加し町民の方々と触れ合うことや、特産である山菜や果物など多彩な食文化を楽しむことで、この町にすぐ溶け込むことができました。そして、都会では得られない、四季折々に表情を変えるこの町の豊かな自然が、常に心を癒してくれます。昨年3月、大江町が『重要文化的景観』に選定されました。最初

は楯山公園から眺めた雄大な最上川の景色のことだと思っていました。が、実はこの町の歴史や文化、建物、そして人々のあゆみが複合的に絡み合っこの選定だと知り、改めてこの町の魅力を再認識しました。

この価値ある景観を大切に守りながら、これを機に町と人が一つになることで、さらなる発展を遂げてもらえたらと願っています。

現在、4人の子育てに奮闘している日々です。この町に息づく人との繋がりを大切に、自然の恵みと歴史的文化の中で、体と心の豊かさを育んでいけたらと思います。



岩手県丸戸村会議員が 来町される

平成25年10月7日、岩手県丸戸村議会の総務教育常任委員会委員および書記7名が本町を訪れ、次の視察研修をされました。

- 1 職員からなる「地域の魅力見つけ隊」の活動状況
- 2 職員の地域住民との対話・交流活動を通じた集落づくりの推進方策
- 3 自立した町づくりに向けた活動の効果と今後のあり方
- 4 活動受け入れ地区側と職員からの説明

以上の内容について、政策推進課の職員が説明したほか、駅前交流センターでは囃子屋台を見学し、さらに、4区の自主防災組織設置について区の役員から説明を受け散会しました。
本町からは正副議長、総務文教常任委員長が応対しました。

編集後記

テルメ温泉館の風呂に通い始めて何年になるだろうか、健康維持のため利用している。

車で約5分、特に今の季節は月山、最上川の冬景色を眺めることができる。

近くにこのような施設があることは贅沢な話であるが、もう一つの楽しみがある。裸で付き合う風呂での会話である。

様々な話題の中で、町の行政や議会活動を知っていたく機会があり、貴重な意見などいただいたときは感謝しつつ、町づくりに反映しなければならぬと考えている。

現在、木風呂等の改修工事が着々と進められており、5月末の完成が楽しみである。

入浴による健康維持とみなさんとの会話は私にとって唯一の楽しみであり、今後も町内の各温泉を利用していきたい。

(記・宇津江雅人)

【発行責任者】

◆議長 小野 祐一

【大江町議会広報常任委員会】

◆委員長 安食 幸治

◆副委員長 宇津江雅人

◆委員 菊地 勝秀

◆委員 古城 紀夫